

平成 30 年度 学校経営計画及び学校評価

1 めざす学校像

生徒それぞれの豊かな個性の伸長と人間性を尊重し、志を高く、時代を切り拓く人材を育む学校

～ 「茨西 PRIDE」のもと、茨西につながるすべての人が「TEAM 茨西」として、生徒それぞれの「志をカタチに」する ～

- 【生徒に育みたい力】 ◇ 確かな学力を基礎に、高い志を持ち、グローバル社会を切り拓く力
◇ 生徒が自身に誇りを持ち、社会人として自律できる力
◇ 母校愛を醸成し、地域そして世界の人とつながる力
- 【教職員に求める力】 ◇ 同僚性を高め、生徒と向き合う力



2 中期的目標

1. “確かな学力”の育成

(1) 生徒の学習支援の強化

- ア 授業規律の一層の徹底
イ 学習支援体制の構築と教育産業の有効利用
ウ 自学自習のハード&ソフトの整備

(2) グローバル社会への対応

- ア EFHS の取り組みを引き継ぐ、英語教育の一層の推進

(3) 授業力向上

- ア 授業評価の PDCA サイクルによる授業改善と教員相互が切磋琢磨できる環境づくり
イ アクティブ・ラーニング (AL) 及び ICT を活用した授業の推進

※ 学校教育自己診断 (保護者版)、授業のわかりやすさに係る肯定回答率、2020 年度 60%以上をめざす。(H28 : 49%・H29 : 52%)

※ 学校教育自己診断 (教職員版)、AL へ取り組む教職員の割合、2020 年度 90%以上をめざす。(H29 : 88%)

2. 高い志を持ち “社会を切り拓く力”の育成 ▶ 「志をカタチに」

(1) 生徒の将来を見据えたキャリアサポート

- ア 全方位の進路マップによる、早期の生徒・保護者の進路意識の醸成
イ 高大連携やフィールドワーク等によるキャリア意識の向上

※ 第3学年4月の進路希望調査 (4年制大学・短期大学進学者)の実現率、2020 年度 80%以上をめざす。(H28 : 71%・H29 : 76%)

※ 2020 年度、4年制大学への進学率 60%をめざす。(H28 : 43%・H29 : 48%)

3. 生徒が自身に誇りを持って、将来社会人としての “自律する力”を育む ▶ 「茨西 PRIDE」の涵養

(1) 自律を促す教育活動の展開

- ア 基本的な生活習慣の確立と規範意識の向上

(2) 安全安心な学校づくり

- ア 人権教育委員会及び生活指導部を中心とした豊かな人権感覚の醸成
イ 教育相談委員会を中心とした教育相談活動の活性化
ウ 交通安全教育や防災教育等を通じた危機管理能力の向上と共助に係わる意識の涵養

※ 生徒・保護者向け学校教育自己診断「命の大切さ・豊かな心・人権感覚の醸成」に係わる質問の肯定回答率 70%以上をめざす。

(両者の平均 H28 : 62%・H29 : 68%)

4. 学校・家庭・地域・世界と “つながる力”の育成 ▶ 「TEAM 茨西」の形成

(1) 各種 HR 活動・生徒会活動・部活動や国際交流行事を通して多種多様な、つながる力を養う。

- ア HR 活動・生徒会活動及び部活動の活性化
イ 国際交流事業の推進

(2) 中高及び小高連携の推進と地域連携の強化

- ア 中高連絡会・地域交流協議会等により連携を強化し、地域のボランティア活動を通じ地域貢献を推進する。
イ 卒業生・保護者・地域の教育に係る人材等を発掘し協力体制を構築する。

(3) 家庭との連携及び PTA 活動の活性化

- ア 家庭連絡や意思疎通をきめ細かく行う。
イ PTA 活動の一層の活性化

※ 生徒の行事に係わる学校教育自己診断の肯定回答率、2020 年度全て 80%以上をめざす。(H28 : 68%・H29 : 73%)

※ 部活動への1年次当初の加入率、2020 年度 80%以上をめざす。(H28 : 70%・H29 : 63%)

※ 保護者への連絡及び意思疎通の項目の肯定回答率、95%以上を維持する。(H28 : 95%・H29 : 96%)

5. 教職員の “生徒と向き合う力”の強化

(1) 教職員がチームで生徒と向き合う

- ア 教職員の力を伸ばすための組織的・計画的なプランの策定及び実施
イ 職員研修の充実
ウ 教職員の働き方改革

※ 教職員向け学校教育自己診断において全ての項目で肯定回答率 90%以上をめざす。(H28 : 4/7 項目・H29 : 4/9 項目)

【学校教育自己診断の結果と分析・学校運営協議会からの意見】

学校教育自己診断の結果と分析 [平成 年 月実施分]	学校運営協議会からの意見

3 本年度の取組内容及び自己評価

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標	自己評価
確かな学力	(1) 生徒の学習支援 ア・授業規律の一層の徹底 イ・学習支援体制の構築 ・教育産業の有効利用 ・勉強合宿の実施 ウ・自学自習の環境整備及び運用 (2) グローバル社会への対応 ア・英語教育の一層の推進 (3) 授業改善 ア・PDCA サイクルによる授業改善 ・教職員が切磋琢磨できる環境づくり イ・アクティブ・ラーニング(AL)の推進 ・ICT 活用推進	(1) ア・授業規律の徹底と、間かせる態勢づくり、ほめる授業の実施 イ・実力テストの結果より、「隙間学習」等、ボトムアップに取り組む ・教育産業を利用した講習の充実 ・勉強合宿の実施 ウ・自習室及び質問コーナー活用推進 (2) ア・英検へのチャレンジを推奨 ・英語四技能育成のための取組み (3) ア・授業アンケートの振り返りによる改善 ・パディシステムによる活発な授業見学 ・授業マイスターによる交流の活性化 イ・AL 研修及び教授法の紹介 ・ICT 研修及び利用法の紹介	(1) ア・授業規律を守る生徒の割合 90%以上 ^{新規} イ・「隙間学習」への参加生徒数 ^{新規} ・教育産業を利用した講習への参加者の増加 (H29:135名) ・勉強合宿参加者の肯定回答率 80% ^{新規} ウ・自学コーナーの活用者数の増加 ^{新規} (2) ア・英検受験者数 180名以上を維持 ・カリキュラムの変更等による英語に係る生徒満足度アップ ^{新規} (3) ア・授業の振り返りシート提出(年2回)と授業改善に係わる面談回数の増加 ・パディシステム利用数 120回以上を維持 ・授業マイスター(前後期)の指名と研究授業の実施 イ・ALに係わる研修及びニュースの配信 ・AL 取り組む教職員 90%以上 ^{新規} ・教職員の ICT 利用率 80%以上 (H29:77%)	
社会活動の拓く力	(1) キャリアサポート ア・進路に係る早期の意識づけ ・希望進路の進路実現 イ・キャリア意識の醸成	(1) ア・保護者との進路スケジュール等の共有 ・進路実現にむけたガイダンス力向上 イ・高大連携の強化及び見直し ・フィールドワーク等を通じたキャリア意識の醸成	(1) ア・学校教育自己診断(保護者)「適切な進路指導」肯定回答率 75%以上 ^{新規} ・学校教育自己診断(生徒)「進路情報の提供」及び「進路を考える機会」の項目の肯定回答率 70%以上 (H29:65%・64%) イ・高大連携に係わるアンケート ・フィールドワーク等に係わるアンケート	
自律する力	(1) 自律を促す教育活動 ア・基本的な生活習慣の確立 ・規範意識の向上 (2) 安全安心な学校づくり ア・人権感覚の醸成 イ・教育相談活動の活性化 ウ・交通安全指導の徹底 ・防災教育の強化	(1) ア・遅刻防止指導の徹底 ・生徒会主催の規範意識向上の新企画の実施 (2) ア・計画的な人権教育の推進 イ・教育相談ニュース等による、窓口広報と活動の活性化 ウ・入学時の交通安全指導 ・保護者、地域と連携した通学安全指導の継続 ・防災訓練を通じた共助意識の涵養	(1) ア・遅刻者数 5%ダウン (H29:4062) ・校内外の美化を中心とした取り組みに関する、保護者等の意見 ^{新規} (2) ア・学校教育自己診断(生徒)「命の大切さ、社会のルール」、(保護者)「豊かな心、人権感覚」に係るアンケートの肯定回答率アップ (H29:62%・74%) イ・「相談した先生の存在」の肯定回答率アップ (H29:38%) ウ・登下校時の事故数の減少 ・通学安全指導の年6回以上実施 ・地域協議会等での意見聴取 ^{新規}	
つながる力	(1) HR 活動、生徒会、部活動の活性化 ア・HR 活動の活性化 ・生徒会活動の活性化 ・部活動の活性化 イ・国際交流事業の推進 (2) 小中及び地域との連携強化 ア・中高連携の強化 ・地域連携の強化 イ・同窓会活動の活性化 ・外部の教育に係わる人材発掘 (3) 保護者との連携強化 ア・きめ細かい家庭との意思相通 イ・PTA 活動のより一層の活性化	(1) ア・計画的で目的を共有したロングホームルーム(LHR)の実施 ・生徒主体の生徒会活動 ・部活動参加生徒数の増加 イ・台湾修学旅行の成功 ・オーストラリア語学研修の成功 ・海外高校生訪日の受け入れ (2) ア・連携3校との連携協議会の開催と連携強化 ・地域交流協議会の開催と地域行事への参加 イ・同窓会による同窓会人材バンクの設立及び現役支援 (3) ア・メール配信・封書連絡及び担任・顧問との連絡を密に取る。 イ・PTA 活動のより一層の活性化	(1) ア・LHR 計画を全学で共有する。 ・生徒会行事における満足度 75%以上 (H29:72%) ・1年生の部活動加入率 70%以上 (H29:63%) イ・台湾修学旅行の満足度 80%以上 ・オーストラリア語学研修に係る肯定回答率 90%以上 ・海外高校生の受入れに係る生徒の感想 (2) ア・連携3校との連絡会及び出前授業、研修会等の交流の実施 ・穂積及び春日丘小学校区の行事へのボランティア参加に係る生徒の感想 イ・同窓会人材バンクの募集開始 ^{新規} ・現役生徒への同窓会による支援開始 (3) ア・保護者への情報伝達に係る肯定回答率 95%以上を維持 (H29:96%) イ・PTA 実行委員会での回答	
生徒と向き合う力	(1) チームで生徒と向き合う ア・組織的、計画的なプランの策定及び実施 ・経験の浅い先生方及びミドルリーダーの育成 イ・職員研修の充実 ウ・教職員の働き方改革	(1) ア・面談等を通じた適材適所の人事配置 ・QC サークルの活動の活性化 イ・タイムリーで計画的な研修実施 ウ・校務の精査とチーム力の向上	(1) ア・教職員向け学校教育自己診断の結果 ・QC サークル及び面談の複数回実施 イ・クリティカルな研修の実施 ウ・ストレスチェック数値の良化	